



SOMPO

安心・安全・健康のテーマパーク

SOMPOグループのご紹介

2020年8月31日

損害保険ジャパン株式会社

S O M P O ひまわり生命保険株式会社

1. SOMPOグループ及び損保ジャパンのご紹介

安心・安全・健康のテーマパークへ

当社グループではこれまで保険事業を中核として、介護事業やリフォーム事業など事業領域を拡大してきました。そして、お客さまの幅広いライフステージや日常生活において「安心・安全・健康」な暮らしをひとつなぎで支える商品・サービスをご提供してまいります。



国内損保事業



会社概要 (2020年4月1日現在)

- ・総資産 7兆1,660億円
- ・保険料等収入 2兆1,847億円
- ・従業員数 24,689名

営業体制

- ・営業拠点 126部支店524課支社
- ・保険金サービス拠点 265拠点
- ・代理店数 50,719店

2. 災害への取組



近年、自然災害は、「50年に一度の記録的大雨」が常態化しております。
また、「東南海地震」や「首都直下型地震」の懸念もあり、
損害保険や事前の防災・減災の取組が重要となっております。

過去の広域・大規模災害の保険金のお支払い

出典：一般社団法人日本損害保険協会「風水害による保険金の支払い」「地震による保険金の支払い」

災害名	地域	支払件数 (件)	支払保険金 (億円)
平成30年台風21号	大阪・京都・兵庫など	857,284	10,678
令和元年台風19号	東日本中心	295,186	5,826
令和元年台風15号	関東中心	383,585	4,656

地震名	支払保険金 (億円)
平成23年東北地方太平洋沖地震	12,862
平成28年熊本地震	3,883
平成30年北海道胆振東部地震	494

災害時の損保ジャパンの取組（例）

災害で立ち入れない地域や広域な災害を
ドローンによって一括して、調査することで、
迅速な支払いを取り組んでいます。

令和2年7月豪雨災害(長野県)での空撮調査画像



2. 災害への取組

AIを活用した防災・減災システム



AIを活用し、災害発生前→発生時→発生後の被害予測を各種情報に基づいて精緻にシミュレーションできる最先端の防災・減災システムを開発しております。

洪水の予測システム画面



地震の予測システム画面



当社は、米国スタートアップOne Concern 社、民間予報会社ウェザーニューズ社と業務提携を締結いたしました。One Concern 社のシステムは自然災害による被害予測ができる世界唯一のシステムです。自治体との連携では、熊本市とAIを活用した防災システムに関する実証実験を開始しております。同システムの展開により、前述の期待に対応することを目指しております。



損害の先へ、進む。

NEWS RELEASE

損保ジャパン日本興亜

2019年3月28日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【日本初】AIを活用した防災・減災システムの開発・提供

～洪水・地震に関する精緻な被害予測で地域防災力を向上～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 啓二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、米国シリコンバレーの防災スタートアップ企業 One Concern, Inc.（代表取締役：Ahmad Rami、以下「One Concern 社」）および株式会社ウェザーニューズ（代表取締役：高橋 幸仁、以下「ウェザーニューズ」）と防災・減災システムの共同開発に関する業務提携を締結しました。

損保ジャパン日本興亜、One Concern 社およびウェザーニューズは、2019年3月より熊本市（市五、大西一室）において防災・減災システム開発に向けた実証実験を開始し、日本初のAI（人工知能）技術を活用した防災・減災システムの開発を目指します。

なお、損保ジャパン日本興亜と熊本市は、2019年1月20日に「地域防災力向上のための相互協力に関する協定」を締結しており、今回の提携は本協定に基づいた取組みとなります。

※リリース：<http://www.sompo.co.jp/media/press/2019/03/28/03281901.html>

3. 高齢化社会への取組

介護・ヘルスケア事業

「SOMPOケア」を事業会社として、在宅から施設まで、フルラインナップの介護サービスを全国で提供しております。SOMPOケアグループの売上高は業界第2位の規模、シニアリビング居室数は業界No.1となっております。



新しい介護のあり方を創造するプロジェクト

「Future Care Lab in Japan」

介護人材の需給ギャップを解消し、持続可能な社会の実現を目指すため、スタートアップ企業や大手メーカー、研究機関などの技術と、当社介護現場のオペレーションノウハウを融合する共同研究・共同開発などを行っています。



実用化に向け検証している自動運転車いす

高齢者運転動向への取組

シニアドライバーによる逆走やアクセルとブレーキの踏み間違いなどによる事故や凄惨な事故がクローズアップされております。国立長寿医療研究センター監修のもと、高齢者の運転動向の状況を把握するチェックツールを開発し、安全な車社会をサポートしております。

認知機能チェッカーforドライバーズ



脳活動チェック

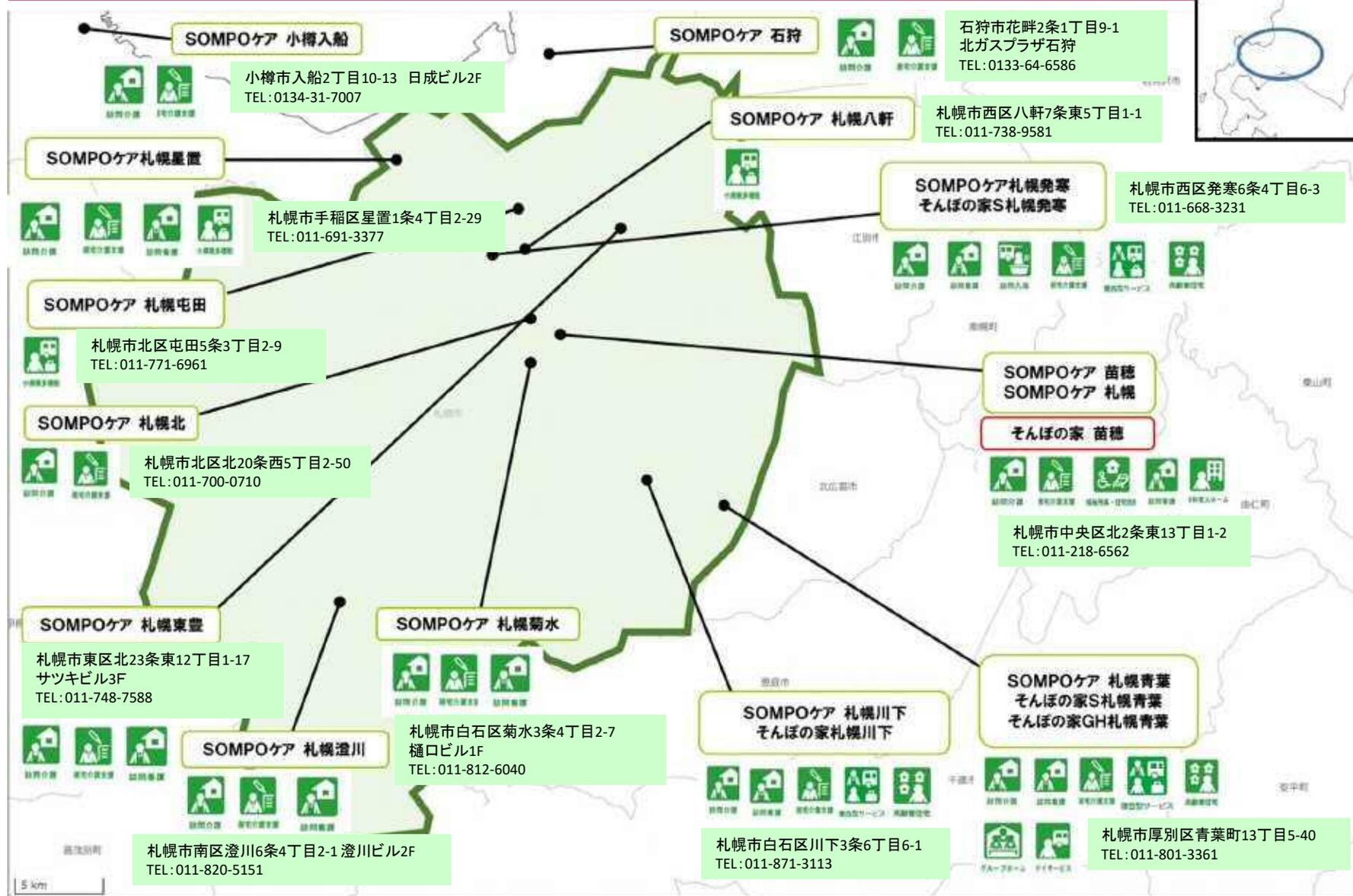


認知機能訓練運転シミュレーター



設置例

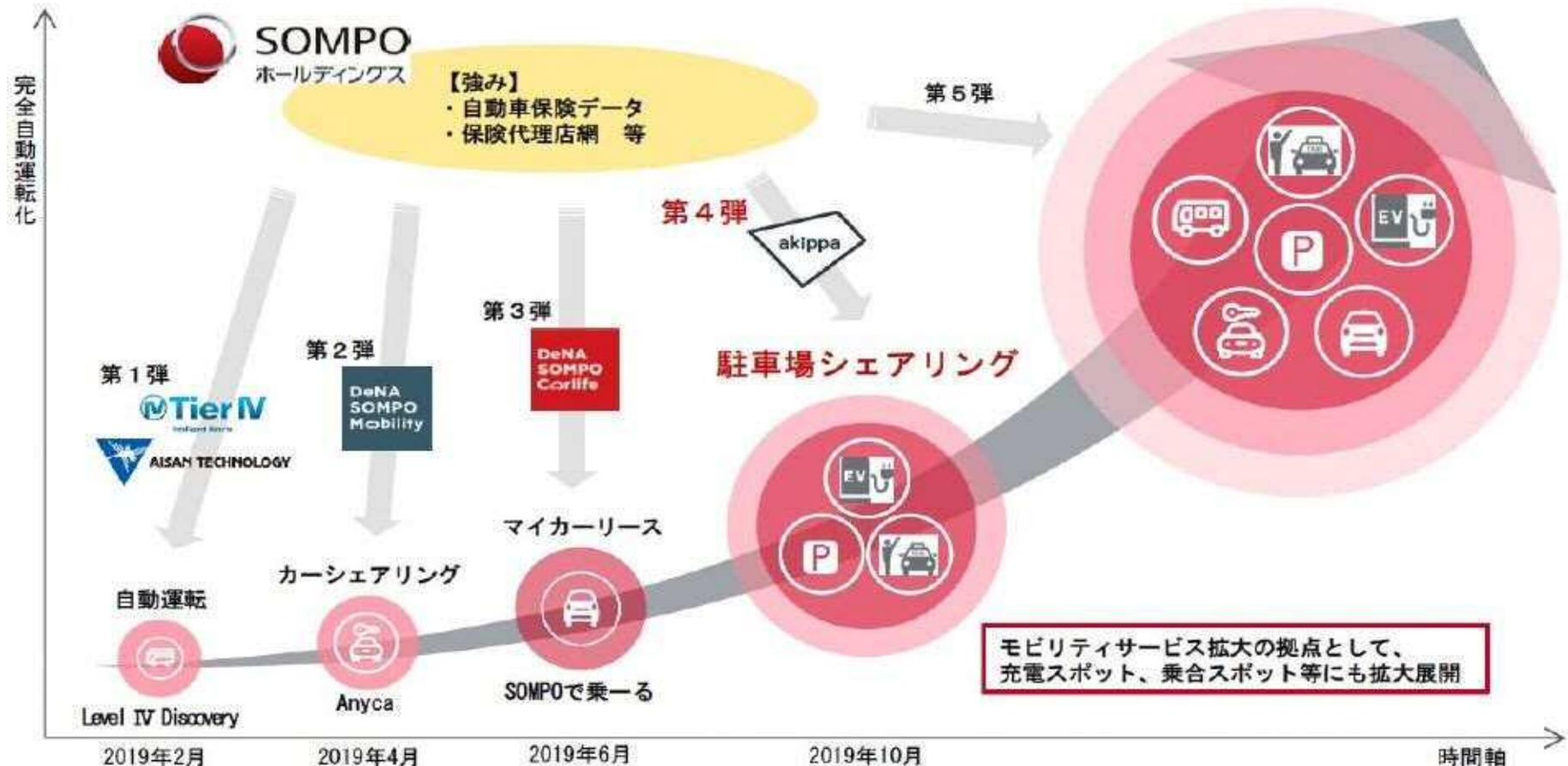
【ご参考】SOMPOケア札幌市・小樽市・石狩市の事業所 (14拠点・44事業所)



北海道では、全92拠点、順次、札幌圏にも拡大しております。

4. MaaSに関する取組

MaaS関連事業を地域の発展のための重点事業と位置付け、自動運転開発支援、カーシェア、駐車場シェアリングなど、事業領域の拡大に取り組んでいます。



取組事例

- ・札幌市社会福祉協議会や自動車ディーラーと連携し、札幌市南区・中央区で、地域の足、移動支援活動に向けたトライアルを開始
- ・北海道における自動運転の展開について、北海道自動車安全技術検討会への参画

5. 地域との共創

環境分野、第一次産業において、スタートアップ企業に出資・連携し、自治体の皆さまや札幌市の企業の皆さまとの共創に取り組んでおります。

環境型バイオマス発電の取組



サステイナブルエネルギー開発社へ出資し、有機物（ごみ）を原料とした亜臨界水処理によるエネルギー生成事業を共同展開しております。廃棄物回収からバイオマス発電までを一気に行います。

⇒災害ごみをエネルギーへ変換することも可能にする取組です。

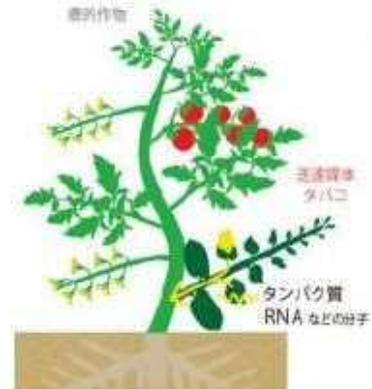
新品種創出の取組



グランドグリーン社へ出資し、新品種創出法（異科間接木）を用いたバイテクツールにより、2～3年で実現できる、汎用的な新品種開発プラットフォームの開発に取り組んでおります。

⇒急速に進む温暖化においても栽培ができる害虫に強い品種を開発する取組です。

新品種創出イメージ



6. SOMPOひまわり生命のご紹介

会社概要（2019年度末時点）

- ・会社名：SOMPOひまわり生命保険株式会社
- ・設立：1981年7月
- ・総資産：3兆2,117億円
- ・保険料等収入：4,465億円
- ・従業員数：2,661名

営業体制

- ・全国95支社体制
- ・代理店数 約15,000店
- ・募集人数 約50万人



本社：西新宿

財務の健全性（2019年度末時点）

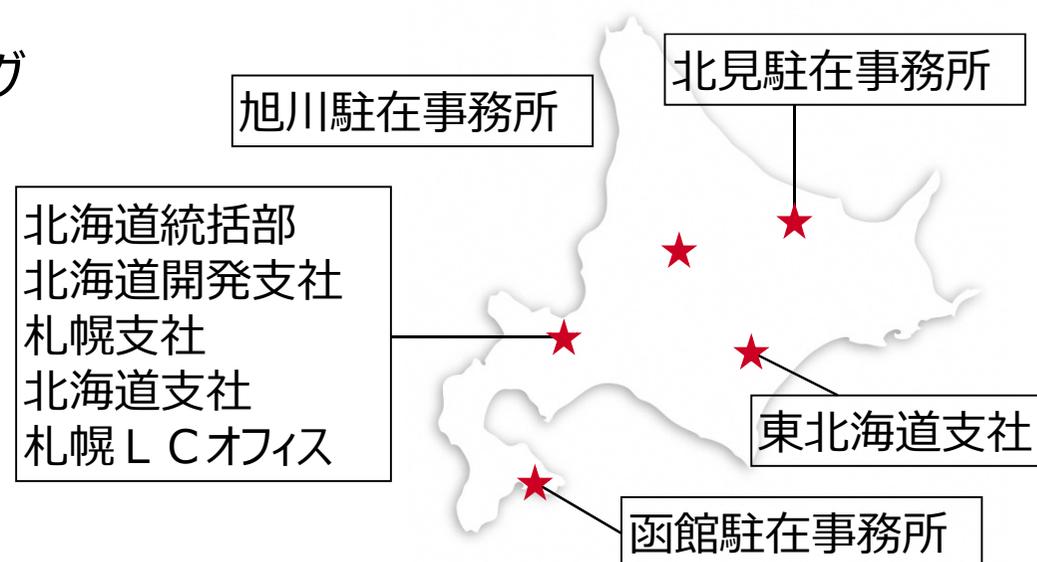
A+

S&Pグローバル・レーティング
保険財務力格付け

AA

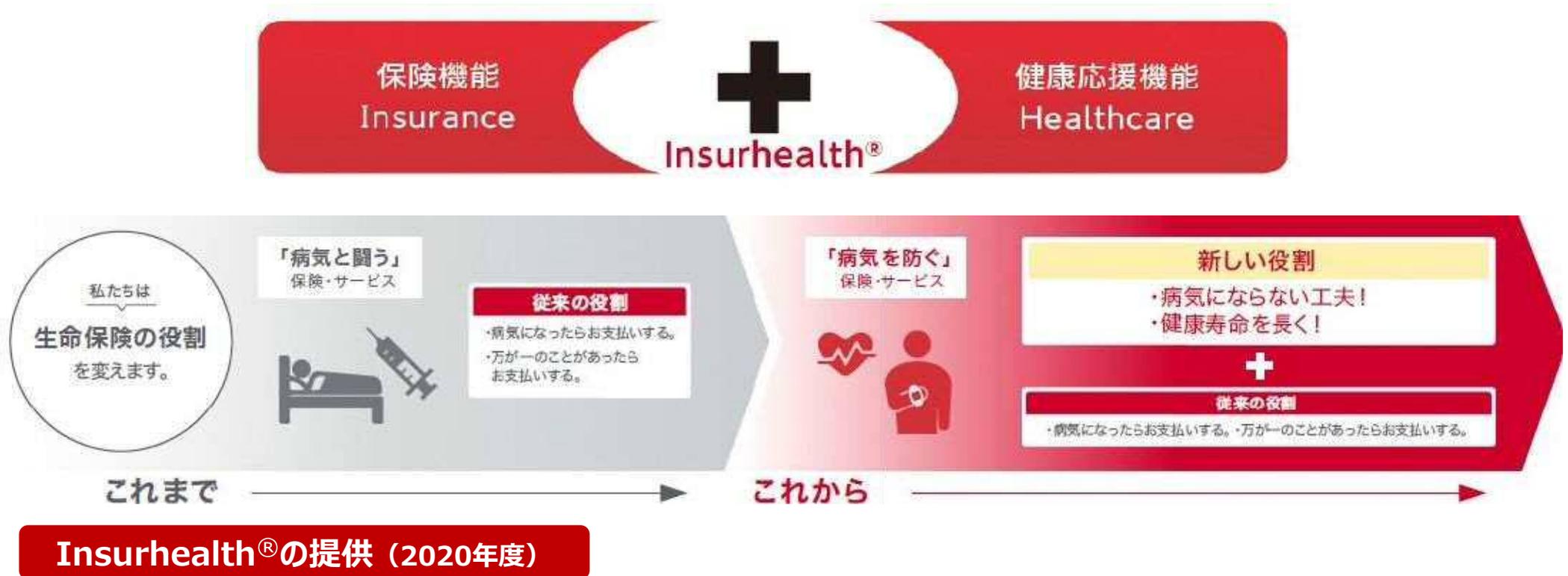
格付投資情報センター
保険金支払能力

北海道における営業体制（9拠点）



7. SOMPOひまわり生命の目指す姿

当社は、お客さまを健康にする「健康応援企業」への変革を目指し、保険本来の機能（Insurance）に健康応援機能（Healthcare）を加えた「Insurhealth（インシュアヘルス）」を新たな価値としてお客さまへ提供しています。



- 2020年6月 『健康をサポートする医療保険 健康のお守り』《医療保険（M1-01）》を発売
 - ・生活習慣病が軽度の段階での生活習慣改善の機会を早期に提供 ⇒ 「健康回復支援給付特約」の新設
 - ・お客さまが重度疾病にならないためのサポート ⇒ 生活習慣病の予防・重症化予防プログラム「Ship」の提供

8. 健康づくりへの取り組み ～疾病・介護予防～

当社は、健康サービスブランド「リンククロス」を立ち上げ、ご契約者様だけでなく、一般の消費者の皆さまの健康維持・増進を応援することを目的に、お散歩アプリ「リンククロス アルク」を開発しました。最先端のICT技術を活用し、“お客さまと保険”という関係性の枠を越え、健康を軸とした革新的な商品やサービスを提供しています。

Linkx aruku
リンククロス



アプリダウンロード数：75万件

※2020年8月現在

リンククロス アルクは、「毎日」「無理なく」「楽しく」「歩く」ことを目的としたお散歩アプリです。本協定に基づき、圏域の各市町村が作成しているウォーキングコースをアプリに公開し、『圏域住民の健康維持・増進』を支援いたします。また、圏域の観光スポットや見所等を巡る「おすすめお散歩コース」も掲載し、『圏域の魅力を全国に発信』することで、観光客誘致にも貢献いたします。



☞ アプリ内コース掲載ページのトップ画面に、さっぽろ圏のコース紹介バナーを掲載し、全国のアプリユーザーへ圏域の魅力を発信します。

9. 健康づくりへの取り組み ～認知症の早期発見・予防、理解促進に向けた取組～

当社は、2018年10月に業界初となるMCI（軽度認知障害）を保障する「笑顔をまもる認知症保険」を発売しました。MCIを起点としたサービス・商品を提供することで、認知症への理解を深め、認知症との向き合い方を変え、本人の健康および介護者を含めた介護の負担が軽減される社会の実現を目指します。当社は、本協定に先駆けて2020年4月から開始した「さっぽろ圏高齢者運転免許証自主返納支援制度」に協力し、認知機能低下の予兆を把握するチェックサービス等を提供しています。

『さっぽろ圏高齢者運転免許証自主返納支援制度』提供サービス

☞ 圏域内にある当社指定代理店で『認知機能チェックサービス』※と『老後のお金と健康の備えについての相談』を無料で実施します。 ※2020年9月から免許返納者に限らず、希望者全員が認知機能チェックサービスを受けられます



認知機能チェック

PC、タブレットを使い約5分、課題に取り組むだけで認知機能を点数化できます。年代別の平均点と比較や、自分の認知機能の推移を追うことができます。

認知機能チェック

第1問

以下は10問の単語を記憶してください。次の画面と、最後の画面で、この10問の単語を読み出して回答していただきます。記憶できた数「正解」をカウントしてください。

救急車	ネクタイ	自転車
にんじん	ねぎ	犬
スイカ	メロン	えんぴつ
カメラ	魚	柿

次へ

シニアライフに向けた「お金」と「健康」の備えについて

平均寿命も伸び、寿命退職後も長い人生が待っています。安心して暮らすためのシニアライフをより具体的にしたい方も多くいらっしゃいます。ぜひ、今から準備を始めてください。

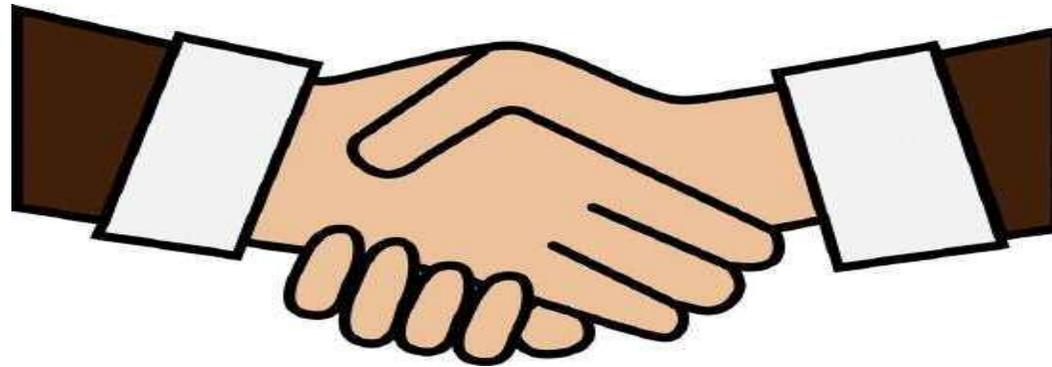
シニアライフのお金と健康

どのようなシニアライフをお望みですか？

専任も延び、定年後の人生も長くなっていきます。シニアライフのお金と健康について心配事はありますか？

最後に

損保ジャパン、SOMPOひまわり生命は、さっぽろ連携中枢都市圏の住民・企業・自治体の皆さまとともに「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ圏域に向けて、貢献していきます。





SOMPO

安心・安全・健康のテーマパーク